

Narashino International Association



NIA SQUARE ナショナルスクエア

Quarterly News

第71号

2005年9月1日
習志野市国際交流協会

Special Report Report

みんなで夢を掴もう
楽しく勉強してきます
タスカルーサ市青少年
派遣団活動報告

Information

Alabama News

Who's who

Challenge

N.I.A.活動報告みんなで力をあわせて

魅力ある新旧の融合

こんにちは・コンニチハ

ザ・英文クロスワード・俳句



みんなで夢を掴もう！



ボビー・バレンタイン監督にインタビュー

夢のセ・パ交流戦にロッテ優勝！

千葉ロッテマリーンズの選手でも、セ・パ両リーグの交流戦での優勝は、夢だと思ったそうです。その不可能だと思っていたことをやってのけたのです。ロッテの選手は、今までになく勝つことに自信が沸いたそうです。

夢中で戦ったこの交流戦、36戦中、なんと24勝11敗1分け。勝率6割8分6厘と2位のソフトバンクに2分9厘の僅差ながら堂々たる優勝でした。

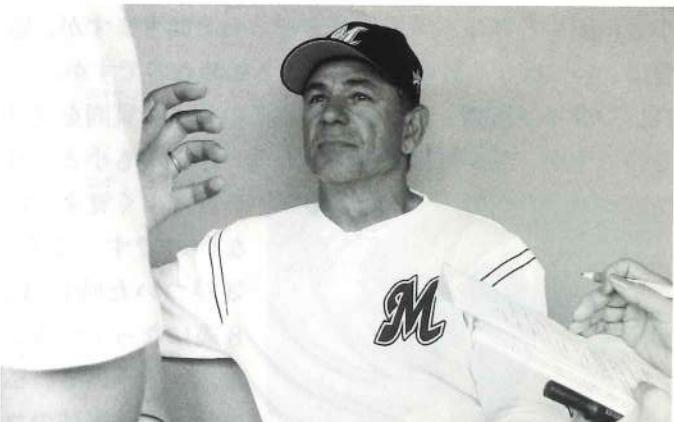
おめでとう。千葉ロッテマリーンズの優勝！



さる6月18日にこの交流戦は、全日程216試合が無事終わったが、21日からは、再びパシフィック・リーグのチームとのシリーズ対戦が始まりました。この勢いで今度は、シリーズでも優勝してボビー・バレンタイン監督の目標、“Building our dream” 更なる大きな夢を掴んで下さい。みんなで応援しています。

ボビー・バレンタイン監督にインタビュー。

千葉ロッテマリーンズ球団の企画広報部の計らいで、この交流戦の優勝がまだ冷めやらぬ6月29日、ボビー・バレンタイン監督にマリーンスタジアムで直接お会いし、お話を伺うことが出来ました。



当日の朝、マリーンスタジアムは、梅雨の最中でしたが、前日からの激しい雨もあがり、風は東から2メートルと絶好の野球日和でした。

この日のリーグ戦は、千葉ロッテマリーンズ対ソフトバンクの11回戦でした。今までの対戦成績は、ロッテマリーンズ6勝、ソフトバンク4勝でした。この11回戦でもボビー・バレンタイン監督のボビーマジックが、交流戦に続いて功を奏するかが見所でした。

すでにロッテマリーンズの選手達のバッティング練習が始まっていました。わが郷土が誇る福浦選手、ハイ

出身のベニー選手、韓国のホームラン王リー選手など、皆の打つ打球は、球場内に鋭い音をひびかせながら、外野席に消えていきます。あんなに簡単にホームランが打てるのにはびっくりしました。さすがプロです。

ロッテマリーンズの梶原さんに、マリーンスタジアムの入り口で、球場入場証、ONE DAY PASSをもらい、普段は入れない部屋に案内されました。そこは、野球解説者やマスコミのスポーツ記者達の仕事場でした。丁度バッターボックスの真後ろに当たる部屋で、野球選手達の今日のコンディションや当日の試合の流れなどを予想するには絶好の位置でした。彼らは忙しそうにパソコンをうっていました。彼らがまとめた内容が、テレビやラジオで解説されたり、記者の書いた記事が明日のスポーツ新聞一面を飾るのかと思うとこの仕事場にいること自体にとても興奮しました。

しばらくして、梶原さんの誘導でダッグアウトに着くと、バレンタイン監督はベンチに座り、我々をにこやかに迎えてくれました。

今日のソフトバンクとの試合は、リーグ戦前半の一つの大きな山場です。監督をはじめ、選手達も負けられない大切な試合だという気迫に満ちあふれています。そんな貴重な時なので、我々とのインタビューには、ほんの短い時間しか貰えませんでした。ですから私たちは、編集会議で予めバレンタイン監督の代表質問を次の3つに絞ってインタビューに臨みました。

編集委員：聞くところによると、バレンタイン監督は、小さい頃から野球が大変に好きだったと聞きますが、監督は、いつ頃から野球に興味をもち始めたのですか。

バレンタイン監督：皆さんによくこのような質問を受けるのですが、私が野球を始めたのは、とっても小さい時

からでよく覚えていないのです。でも、気がついた時には、8歳になっていました。というのも、私の父が少年野球のコーチをしていましたから、とても小さい頃から、野球に縁があったようです。本当に覚えていないくらいに小さい時から

野球に親しんでいました。

編集委員：千葉ロッテマリーンズ球団の選手達は、日本のプレイヤーはもちろん、外国から来たプレイヤーも大勢いて、みな楽しみながらプレーしていますね。他のP

ロ野球チームより外国人のプレーヤーが多い気がしますが、一つにまとまったチーム戦略をつくりあげるために、選手達との意思の疎通・コミュニケーションで苦労することがあると思いますが、いかがですか。

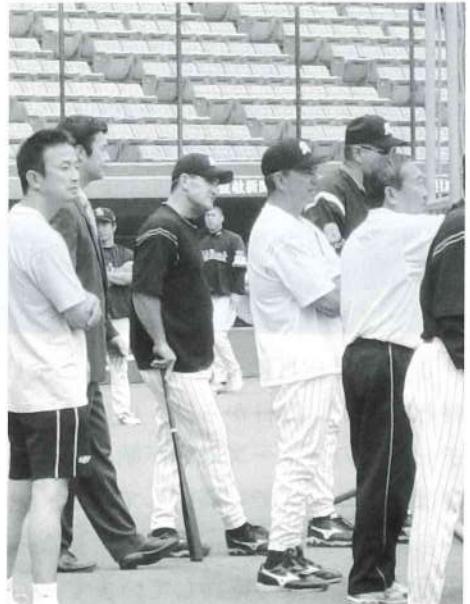
バレンタイン監督：やっぱり言葉の壁が大きいですね。でも有能な通訳が何時でも間に入って助けてくれていますので問題はありません。また、うちのチームの選手達は、試合の中で自分の役割を良くわきまえていて、それぞれの責任をまとうすべく、ベストを尽くしてくれています。私としては、コーチ任せのコミュニケーションだけでなく、直接選手達に声をかけて、楽しく、ベストなプレーが出来るようなムード作りに努めています。



うちのプレーヤーには、多くの優れたヒーローがいます。その一人、習志野出身の福浦和也選手は、うちのチームリーダー的存在です。攻撃面でも、守備の面でもリーダーシップを存分に発揮しています。大変に優れたプレーヤーの一人です。うちのチームの一員として活躍してくれているので、本当に嬉しいです。

編集委員：ご存知のとおり習志野市国際交流協会のメンバーには、大勢の若者達がいます。その若い彼らにバレンタイン監督からなにかメッセージをいただければありがたいのです。

バレンタイン監督：若い君達は、何をやるにも一生懸命に取り組んで結果を出してみてください。それが、君達の仕事であれ、遊びであれ。何事も全力を尽くして、しかも楽しみながらや



って下さい。そうすれば自らその出た結果には満足するでしょう。

バレンタイン監督は、このインタビューが終わるとすぐにベンチを飛び出し、自分のチームの選手達やコーチのいるダイヤモンドに足早に戻られました。午後5時頃には、マリーンスタジアムに灯がともり、大勢の観客やファンがつめかけてきました。そして球場の座席は見る見るうちに埋まっていきました。

帰り際に梶原さんに呼び止められました。

「スクウェア誌の9月号が刷り上りましたら50部ほど下さい。球場の記者室に配布したいのです。」と嬉しいお話をいただきました。「はい、お持ちします。ありがとうございます。」と返事をして、名残惜しみながらマリーンスタジアムを離れました。

セ・パ交流戦までの道程

昨年は球団の統合、新しい球団の誕生、球団のオーナーや球団名の変更がありました。加えて、プロ野球選手会によるプロ野球史上初めてのストライキもありました。ストライキの理由は、いろいろあったようですが、なんといっても、プロ野球にもう一つ夢が足りなかったからでしょうか。事実、プロ野球を見に来る野球ファンは年々減ってきてていることが、それを如実に物語っています。特に、パリーグの観客動員数は、年間300万人なのに対し、セリーグは、その倍近い500万人台とその人気の差が開くばかりでした。

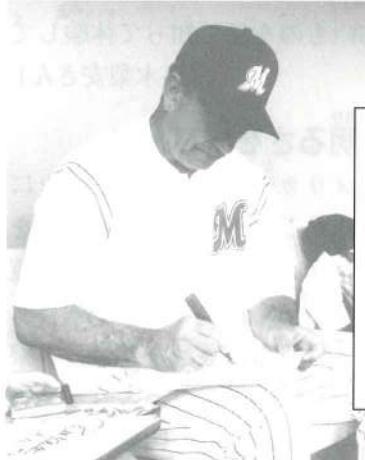
その要因は、いろいろあるにしても、パリーグには、以前から実力がある選手がたくさんいました。しかし、それが残念ながらきちんと野球ファンに浸透せず、スタープレーヤーがなかなか育たない状況がありました。そこで、観客にもっともっと球場に足を運んでもらい、野球を楽しみながら、選手を知ってもらおうと、今から38年前の1967年、永田雅一さん（当時大映オリオンズオーナー）が

「セントラルとパシフィック両リーグによる交流試合、即ち交流戦が出来ないものか。」

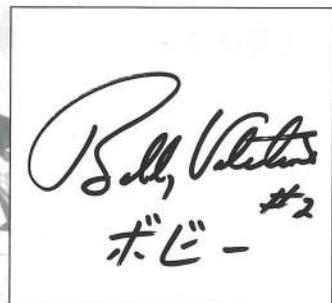
と両リーグのオーナー会議で提案したのです。そしてその提案は今年ついに「夢の両リーグ交流戦」として実現し、しかもパリーグの千葉ロッテマリーンズが、初代のチャンピオンになったのです。

この千葉ロッテマリーンズは、今から31年前の1974年にパリーグで優勝（当時のチーム名ロッテオリオンズ）していますが、その後は成績が上がりず不振続き。監督の交代など、今年の交流戦優勝にいたるまでの道程は決して平坦なものではありませんでした。いったん降りた監督の座に再び戻ったボビー・バレンタイン監督は、選手一人一人に「野球に対するモチベーションを高め、選

手各自の置かれている立場と役割をよく認識して、責任とやる気を起こさせる」ことを基本に指導し選手達をのびのびと育ててきました。加えて、球場に来てくれる観客やファンもロッテマリーンズのチームの一員と考え、家族のように大事にしてきました。毎週土曜日を「カメラデー」にしました。ロッテマリーンズの選手達とファンの交流を図り、一緒に写真をとったり、監督や選手達のサインを自由にもらえる日なのです。また日曜日を「ファミリーデー」として、試合が終わった後にグランドに降りてきてもらい、ダイヤモンドを一周し、観客やファンも選手達と一緒に野球談義が出来るようなイベントも行っています。そのようなバレンタイン監督の地道な努力が実って、喜んでくれる観客やファンが着実に増えています。ロッテマリーンズの監督になって二年目で、セ・パ両リーグの交流戦のチャンピオンになったことは、監督だけでなく選手達にとっても大きな自信になりました。ファンと共に勝ち取ったこの自信をリーグ戦の後半に活かして、今度はリーグチャンピオンになれるように頑張って下さい。



サインをする
バレンタイン監督



監督のサイン

ちなみに、わが習志野市出身の福浦選手は、6月17日のセ・パ両リーグ交流戦で単独一位を決めるヤクルトとの最終戦で、3回に3号逆転2ランを打ち、勝利に大きく貢献しました。

福浦選手は、皆さんもよくご存知の夏の全国高校野球で2回も優勝をした名門習志野高校の出身です。彼は高校時代からスラッガーとして多くの野球関係者に注目されていましたが、プロ入り後その力は益々磨かれ、現在はパリーグを代表する選手にまでなりました。勿論今年もオールスターに選ばれ活躍されています。

ペナントレースの後半も福浦選手は必ず大活躍をしてくれるでしょう。みんなで応援しましょう。

ところで、習志野高校の全国高校野球大会優勝記念碑があるのをご存知ですか。習志野市役所の前庭には、49回大会、57回大会の優勝を記念して2つの碑が残されています。機会があったら是非一度訪ねてみて下さい。

Report／楽しく、勉強してきます。たくさん友達をつくります。タスカルーサ市青少年派遣団

習志野市では姉妹都市タスカルーサ市と毎年交互に青少年の派遣交流事業を行っていますが、今年度は本市の中・高校生26名が派遣され、7月16日（土）～31日（日）まで英語の研修や交流活動を展開しました。今回は参加者の出発前の心意気とタスカルーサ滞在中の前半の活動の様子をとりあげてみました。

高校生

がいこくともだち 外国のお友達をつく りたい。

出発まであとわずか。不安はあまりなく、ただただ楽しみ!私には目標が2つある。一つは英語力をあげること。アラバマでは、たくさん喋り少しでも自信を持ちたい。二つ目は、外国人の友達をつくること。外国人の友達がいるなんてすごく素敵だから。短い間だが、

毎日を楽しみ、日本にはないものを見て知って体験して充実した日々を送りたい。

(高木梨安さん)



元気に出発です。(成田空港にて)

たいりくあか 大陸のおおらかさ、明るさを学びたい。

タスカルーサに行き、アメリカ南部の大自然と人々にふれ、アメリカ人の持つ大陸的なおおらかさ、明るさを学んできたいと思います。タスカルーサの人々との交流では、日本の事、習志野の事を伝えられるよう頑張ります。そして、アラバマ大学では生きた英語を学習し、寮での生活を満喫し、今後この経験が生かせるような充実したアメリカ生活を送りたいと思います。(中坪愛さん)

心はアメリカに・・・。

今回の、派遣訪問団として初めてアメリカに行くことになりました。不安もありますが、同年代の人々や引率の先生方もたくさんいて、今はとても楽しめます。ミーティングも何回もありましたし、準備もすすんでいます。待ちきれない気持です。早くアメリカへ行って、私の英語を試してみたいです。そして、タスカルーサの人々と少しでも交流が出来ればいいと思います。(中光亮介君)

せいいっぱいかんしゃ 精一杯 感謝・喜びの心を伝えたい。

何かをしてもらったときの感謝の気持や楽しいと感じた時の喜びの気持を精一杯相手に伝えてくることが私の目標です。ジェスチャーを交えてもやはり自分の蓄えている言葉を最大限に生かして、伝わったときのしあわせを味わえれば最高です。タスカルーサ市での生活に現地の人のように浸って、充実した16日間にしたいと思います。

(鳩貝亜希さん)

ゆういぎ この経験を有意義な ものにしたい。

海外で一定期間を過ごすということは、とても大きな意味を持つことだ。日本とは物事に対する考え方や生活習慣の違う国々に身をおくということは、それだけで新鮮なものだろう。今回の訪問が、有意義な時間となるようにしたい。

(福島卓人君)

じょうたつ 英語を上達させたい!

私が今回の研修に参加した理由は、やっぱり英語の上達のため!が一番。日本を離れれば、それだけ話す機会も多くなるし、いろいろな話題について話をするので学校に行っているだけでは習わない単語も多く出てくる。特にホストファミリーとの生活は、楽しみにしていることの一つ。家でも英語が聞けるなんてとても魅力的!アメリカ文化やアメリカ人の考え方などを知る大きなチャンス。楽しみです。

(伊藤瑠香さん)

せつきよくてき 何事も積極的に取り組んできます。

「英語の上達には、いろいろなものに興味を持ち、自分から積極的に学ぶことが大切だよ。」と叔父からアドバイスを受けたので、今回の英語研修ではとにかく積極的に。疑問に思ったことは、答えが出るまで貪欲に学んできます。

(山岸清久君)

人と人とのかかわりを大切にしたい。

私は今回の派遣で語学を学ぶだけではなく、アメリカの文化及びあらゆる人々とのかかわりを大切にしたいと思っています。一緒に行く派遣団員、大学やホストファミリーの人々との生活は、一期一会という言葉で表せないくらい貴重な出会いだと思うからです。そして帰国した時、想い出が心にたくさん残るような楽しい2週間にしたいです。

(吉成陽子さん)

外でしか感じられないものを大切にしたい。

私は今回の英語研修で、自分の英語力を試し、もっと上達させるのは勿論のこと、アメリカの文化や人々の温

かさ、そして日本にいるだけでは感じることの出来ない世界の広さや大きさを身体で感じたいです。自分の英語力がどのくらい通用するかは、とても不安ですが、少しでも多くのことを学んで帰国することが出来たらいいなと思っています。

(神林みかさん)

これから的生活に生かせる経験を

飛行機に乗るのも海外へ行くのも初めてな私ですが、今回の語学研修ではたくさんの日本とアメリカの文化や生活習慣の違いを見出し、互いの良いところを紹介できるように学んでいきたいと思っています。そしてたくさんよい思い出をつくって、からの進路選択や人生に大きく役立てていきたいと思います。(伊能愛美子さん)

英語が好きになってきます。

私が海外派遣に参加した理由は、英語を好きになりたいと思ったからです。以前から海外の生活や文化に興味はありました、強い苦手意識から足を踏み出すことをためらっていました。しかし、勇気を出して参加しようと決め、一緒に行く訪問団の皆さんと会った時に、不安が楽しみに変わりました。タスカルーサへ行ったら、見聞を広め、帰ってきた時に英語が好きだといえたらいいなと思っています。

(大久保江実梨さん)

はじめてづくし。頑張るぞ！

初めての飛行機で、はじめて外国へ行くという事なのでとても楽しみにしています。また英語の能力も十分でないですが、自分の出来ることを一生懸命やってきたいと思います。

(細根翔平君)

多くの人とふれあいながら英語の勉強を

自分は英語が大好きで、もっと英語について特に日常使われる英語について勉強したいと思ったので、今回の派遣に志願しました。アメリカには、めったに行く機会がないので、様々な事を積極的に学びたいと思います。自分の長所の明るさを用いて、アメリカ・タスカルーサの人たちとたくさん接したいと思います。

(柴田悠那さん)

ゆめに向かって第一歩を踏み出します。

私は、いつか国際的な場で活躍したいという中学校時代からのゆめがあり、このゆめを実現するための第一歩としてこの研修に参加しました。是非、実践的な英語力を身につけ、人々との交流を通してアメリカの文化や歴史を学ぶ事により、自分の視野を広げたいと思います。そして、今までとは違った視点で、日本を見ることが出来たら、ゆめの実現に一歩近づく信じています。

(江澤智美さん)

目標を実現するために頑張ります。

私は今回の派遣に幾つかの目標を持って望みたいと思います。①自分の力だけで英語が話せるよい機会なので、

なるべくたくさんの人と話す。②興味を持っているアメリカの文化について多くのことを見聞きし学び取って来る。海外に行くのは初めてで不安な気持で一杯ですが、限られた時間を有意義に過ごし、また現地の人との交流を通してアメリカへの理解を深められればいいなと思います。

(大塚知美さん)

たくさんの人たちと出会い、学びたい。

私が英語に興味を持ったのは、中学2年生の時です。学校の前で外国人の女性に英語で話しかけられたのがきっかけでした。そのとき、何を言っているのか全く理解出来なくて、とても悔しい思いをしました。でも、この研修会を通してたくさんの異文化の人たちと出会って、自分を少しでも成長させられるきっかけになればいいなと思っています。

(金子奈未さん)

大学での学習を今後に生かしたい。

僕は以前、学校のニュージーランドのホームステイ研修に参加したのですが、語学研修というよりは外国の文化に触れる主眼をおいたものでした。今回の派遣団は、大学で英語を学ぶことなので、そこで身につけるであろう勉強法などが、日本に帰ってきてからの学習に生かせればと思います。

(菊池正典君)

成長する機会にしたい。

今回この絶好のチャンスを生かして自分自身の向上のきっかけになればよいと思っています。英語は勿論、多くの仲間との団体生活によって、どのように自分が成長出来るか今から楽しみにしています。そして、自分の英語でたくさんの人とコミュニケーションを取り、この機会を存分に利用し、今後に役立てていきたいです。帰国の際、少しでも大人になって堂々と帰ってきたいと思います。

(小林幹君)

英語がうまくなりたい！

今回、友好訪問団の一員として姉妹都市タスカルーサ市を訪問することができて、とてもうれしく思いますが、多少不安もあります。実は、私は英語があまりできないのです。今回の語学研修を通じて、少しでも英語をうまくなりたいと思います。そして、ホームステイを通して異国文化や風俗習慣を理解したいと思います。

(陳義梅さん)

自立心や積極性を高めてきたい。

私は、中・高校生派遣訪問団の一員として、タスカルーサの人々と多くの意見を交換できたら良いと思います。また、ホームステイや大学寮での生活を通して自立心や積極性をもっと高めたいです。大学寮の生活は、慣れないことばかりだと思いますが、ホームステイやゴルフなどの現地の人たちとの交流の場を有効に生かし、楽しめれば良いかと思います。

(石神亜加子さん)

中学生

きゅうしゅう

吸収したいことが一杯、頑張ります。

今回タスカルーサ市派遣訪問団として、出発にあたっての抱負は「英語力を高める。」と「アメリカの習慣を学ぶ。」です。まず、私は、英語の発音が下手でJapanese Englishになってしまふので、アメリカにいって英語の応用力と共に頑張りたいと思っています。そしてタスカルーサでは、3日間ホストファミリーの家に行きます。そこでも、アメリカの習慣をいろいろ学びたいです。

(小川愛子さん)

みんなと協力して頑張ります。

私は今回の研修で英語でスムーズに会話が出来るようになることを目標としています。普段の生活で学べないアメリカと日本の文化の違いなども肌で感じ、実りあるものにしたいです。海外へ行く、しかも約2週間という長さというのは初めてなので不安もありますが、一緒に行くメンバーの方々と協力して、習志野市の代表者として、そして学習する生徒として頑張ります！

(田中 莉さん)

思い切って楽しめます。

初めて海外に行くことにとっても緊張しています。生活の違いにとまどったり、思うようにコミュニケーションが取れなかったりすると思いますが、くじけずに英語だけの生活を思い切って楽しめたいと思います。2週間という限られた時間でホームステイ先の家族の人やたくさんの人と仲良くなれるように、いつも笑顔でたくさん

会話をし、いろいろなことを吸収してこようと思います。

(菅野綾菜さん)

日本の文化をとおして交流をしたい。

私は今回のタスカルーサ訪問について、日本とは違う文化をたくさん体験してみたいと思います。また、日本の文化をたくさん紹介することも目標です。具体的には、日本の歌を歌ったり、折り紙や習字を紹介したりします。喜んでもらえるよう、頑張りたいと思います。今回の訪問で、習志野市とタスカルーサ市の交流がさらに盛んになればいいなと思っています。

(横橋茉耶さん)

いろいろなことを学められます。

私は、今回のタスカルーサ市訪問で英語力の向上のために努めたいと思います。そして、現地の人の言葉だけではなく、文化や感じ方や流行などの様々なこともこの機会に知りたいと思っています。また、日本のことを見習うために教えてあげたいですね。とにかく、いろいろなことを学び、16日間を楽しめたいと思います。

(玉木雅知子さん)

体調管理に気をつけて頑張ります。

僕は、今回初めてアメリカへ行くことになりました。正直不安も一杯あります。しかし、前向きでなければきっとつまらない一生懸命頑張りたいです。また、ホームステイも楽しみにしています。生の英語を肌で感じて積極的にコミュニケーションをとりたいです。そして、体調管理もしっかりして充実したものにしたいです。

(富川優君)

青少年派遣団日程

月 日	活動 内 容
1 7月16日	12:00 成田出発 15:23(現地時間)ダラス経由バーミンガム着 タスカルーサ市へアラバマ大学寮泊
2 7月17日	午前 自由時間 午後 子ども体験博物館での歓迎会
3 7月18日	午前 タスカルーサ市姉妹都市委員会訪問・タスカルーサ市長訪問 午後 ミニゴルフ
4 7月19日	午前・午後 集中英語研修・スチューデントレクリエーションセンター見学・ピクニック
5 7月20日	午前・午後 集中英語研修・ブルーベリー狩り
6 7月21日	午前 集中英語研修 午後 TV番組「Good Day Tuscaloosa」生出演・マウントビル考古学公園見学
7 7月22日	午前・午後 集中英語研修 夕方 ホストファミリーお迎え
8 7月23日	ホストファミリーと過ごす。
9 7月24日	ホストファミリーと過ごす。 夕方 アラバマ大学寮に帰る。
10 7月25日	午前 集中英語研修 午後 アラバマ大学キャンパスツアー
11 7月26日	午前 集中英語研修 午後 ポウワーズ公園で地元高校生とピクニック
12 7月27日	午前 集中英語研修 午後 美術館見学 夕方 正式夕食会
13 7月28日	午前 集中英語研修 午後 買い物 夕方 答礼パーティー
14 7月29日	午前 大学寮チェックアウト、アメリカンビレッジへ 午後 公民権資料館見学 バーミンガム泊
15 7月30日	6:40 (現地時間) バーミンガム発 8:35 ダラス着 11:35発 ダラス発
16 7月31日	15:05 成田空港着 解散

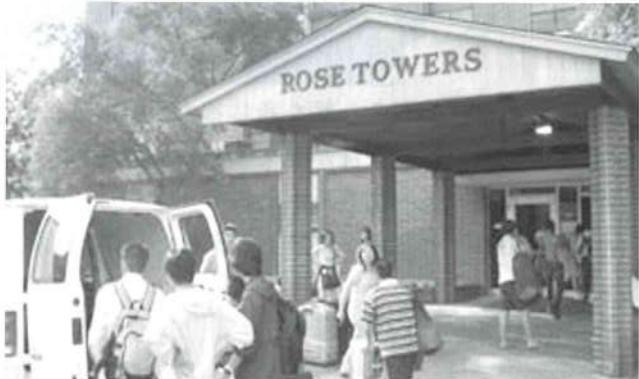
いよいよスタート。英語の研修、人とのふれあい楽しいです。(タスカルーサ市での活動報告前半)

研究中の様子が届きました。今回は前半しか掲載出来ませんが、次号では後半と帰国後の感想を載せる予定です。



7月16日

朝、成田空港に集合して飛行機に乗り、数時間経つとまた日の出を迎える。16日を過ごしているこの状況が理解できずにいる。14時間という長いフライトの時間が苦じゃなかったのは幸いだと思う。到着して思ったことは、「大きい。」まず土地が広く、人も穏やかで、食べ物は超BIG! この日本とかなり異なるアメリカで自分がどれだけ成長できるか楽しみだ。



やっと着きました。アラバマ大学寮

7月17日

昨日の長旅の疲れが少し残ったまま、2日目の朝を迎える。まだこの環境に戸惑いもありますが、少しずつこの生活にうちとけてきています。

今日は、昨日の夕食に引き続き、朝食、昼食は自分たちでオーダーしました。店員さんには、たくさん迷惑をかけてしましましたが、なんとかオーダーすることができました。昼食後、お店の前にいたファミリーと写真を撮りました。全く私たちのことを知らないにもかかわらず、とてもやさしく話しかけてくれました。

また、その後、博物館で歓迎会がありました。私たちのために準備してくれた方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。私は今日だけでもたくさんの人々と出会いいました。その人々の心やさしい対応のおかげで、不安な気持ちがなくなっていました。私は、これからサポートしてくれるタスカルーサの人々に心から感謝することを忘れずに、たくさんのこと学んでいきたいです。

7月18日

今日はとても充実した日を送りました。まず、リサ・キースさんのいらっしゃるタスカルーサ姉妹都市委員会を訪問しました。色々な物が展示しており、建物の中も外も驚くほどきれいで、見とれてしまいました。ヨーロッパ風の作りみたいで、そこにいる気持ちになれました。

次に、タスカルーサの市長さんに会いに行きました。

会う前に、実際に議会で使われている市長さんが座る席に座らせてもらいました。まるで、自分が市長になったかのような気持ちになれました。もちろん写真もしっかり撮りました。その後、5分ぐらいで市長さんがお見えになり、お話を聞きました。とても明るく気さくな方で、冗談もとてもおもしろかったです。



市長さんと記念撮影

7月19日

初めての授業があった。先生は全員英語で授業するから、授業の前はとても不安だった。でも、実際に授業を受けてみると、とてもおもしろかった。使う言語が違うため、日本の学校の授業よりも注意して先生方の話を聞くことができた。そして、何よりも、先生の説明や話していることを部分的に理解できて、意味を自分で見つけられたということが、とてもうれしかった。この授業を続けていたら絶対に英語が上達すると思う。

午後からホストファミリーのロバーツさんとピクニックをした。ロバーツさん夫妻は学校の先生らしい。私たちが返答につまると、なるべく簡単な言葉にしてもう一度ゆっくり話して下さった。金曜日、ロバーツさんの家に着いたらプール遊び、土曜日は映画を観にいくプランらしい。ホストファミリーというのは、こんなにきちんと好意的に私たちを受け入れてくれるのだなと思った。



はじめての英語のレッスン

Information/N. I. A. 活動報告 みんなで力をあわせて

本協会は、今年度もたくさんの方々のご支援ご協力を受けながら、活動を展開してきています。今回は、5月後半から7月末まで行った主な活動をご紹介したいと思います。

ただ今、お隣の国の言葉を勉強中。

5月中旬から始まりました「韓国語・中国語春期初級語学講座」は、7月後半無事終了することが出来ました。

スタート前は、3年ぶりの再開のため、受講生が集まるかどうか心配しておりましたが、いざふたを開けてみると定員の3倍近い方々に応募をいただき、結局抽選になってしまいました。残念ながら抽選にもれてしまった方々には、本当に申し訳なく思っております。

講座は90分の学習を10回組みましたが、皆さん熱心に受講され、講師をしていただいた韓国語の崔恩栄（チエ・ウンヨン）先生、中国語の馮慧（フーエー）先生も驚かれていました。



受講された方に感想をお聞きしたところ、「はじめはついていけないかどうか心配でしたが、とても楽しく学べました。これも先生のおかげです。これからも頑張ります。」とのことでした。

9月からは、秋期講座が始まります。（語学研修部会）

音楽をとおして素敵なお文化交流。

第1回の「日本文化セミナー」が6月27日（月）サンロード5階和室において42名参加のもと開催されました。今回は、市民ボランティアの方々（代表中村勝子さん）と「六段の会」（代表粕谷先生）のご協力を得て「日本の音楽、琴」をテーマに取り上げてみました。

はじめに先生方に数曲演奏をしていただき、うつとりしたところで、外国の方（17人）への「お琴」の手ほどきが始まりました。初めての経験だったせいか最初はかなり緊張していましたが、美しい音色が奏でられると表情も一変。皆さん嬉しそうに「さくら」に挑戦しました。

また、今回は特別出演として会員のボリビア出身のヴィクター・ウゴ・クエト・ドゥロンさんに母國の民族樂器チャランガの演奏をしていただきました。哀愁を感じ



るさせる音色は、お琴と一緒に通じるものがあり、音楽を通しての素敵なお文化交流が出来ました。最後に、先生と外国のみなさん、参加者も加わって「さくら」の素敵な合奏が行われ、セミナーは終了しました。（文化部会）

若者達も頑張っています。

青少年部会では、スポーツ大会を5月21日（土）市役所前グランドにおいて開催しました。キックベースボール、長縄跳び、ポートボールなど誰でもすぐに出来るような種目を準備してくれたおかげで、26名の参加者は、みな楽しく運動が出来たようです。この様子はタウンテレビ習志野でも放映されました。

また7月23日（土）には、大久保中央公園においてパークゴルフ大会と花火大会を開催しました。当日は、千葉県に震度5弱の地震があり心配しましたが、何事もなく、予定どおり行い、8時過ぎに終了しました。



青少年部会では、このように多くの人たちと国際交流の輪を広げようと毎月2回部会を開き、企画から広報、当日の準備までそれが分担し、活動を続けています。

今後も10月にバス研修旅行、12月にはクリスマスパーティーを企画しています。くわしいことは事務局にお問い合わせいただくか、ホームページ等をご覧下さい。青少年部会への皆さんの参加もお待ちしています。

（青少年部会）

楽しかった子どもたちとのふれあい。

日本語を学んでいる9名の外国の会員さんと4名のボランティアの方々が、7月13日（水）習志野市立鷺沼小学校にゲストとして招かれ、5年生の総合学習（国際理解の学習）に参加しました。



楽しかった国際交流

90名以上の児童に囲まれ、まず“日本の遊び”の体験学習、続いて参加された方々の国の遊びの紹介やその国の文化（特に衣食住や言葉等）についての質問コーナーが開かれました。何処のグループも和気あいあいで、互いにより良い国際理解が出来たように思います。最後に5年生から素敵なお歌のプレゼントがあり、一同大感激。

子ども達にとっても、外国人の人たちと心と心のふれあいが出来、とてもよい学習になったのではないかと思います。これを機会に、ますます国際理解が深まるといいですね。

（日本語学習部会）

おいしかった“インドネシア家庭料理”

毎回大好評の“世界の料理教室（22回）”が、7月12日（火）菊田公民館調理室で開催されました。



楽しくお料理づくり

出来上りました→



今回は、会員の岸リナさん、奥原クリニアティさん、本田リスさんを講師に迎え、インドネシアの家庭料理チキンスープの「ソトアイヤム」や焼き卵麺「ミーゴレン」バナナを揚げた「ピサンゴレン」を教えていただきました。どの料理もエスニックなスパイスが効いたお料理で参加者には大好評でした。この料理を挑戦してみたい方

はホームページにレシピを掲載しておりますのでご覧下さい。

（文化部会）

ドイツ年行事に参加し、交流を深めました。

スクウェア70号でもご紹介しましたが、2005年から2006年にかけて行われている“日本におけるドイツ年”的催しが全国各地で開催されています。

千葉県も6月15日（県民の日）習志野市文化ホールにデュセルドルフ交響楽団をお迎えし演奏会を開催しました。本協会ではこの機会に、習志野とドイツの関係を多くの方に知っていただこうと前号に特集しました“ドイツ兵士捕虜収容所”に関わる写真展をホワイエにおいて開催しました。

演奏前に荒木習志野市長（本協会顧問）の案内で、デュセルドルフ市長、堂本千葉県知事をはじめ関係者の方々にご覧いただいた他、休憩時間等を利用して多くの千葉県民の方々にも見ていただきました。



習志野市長、デュセルドルフ市長、千葉県知事もご覧に

「捕虜のドイツの兵隊さんと地域の人との暖かい交流があったことに驚きを感じるとともに何かほのぼのとさせられました。」

「今日の音楽のように、これからも素敵な関係になるよう交流を深めたいですね。」

多くの方から感想をお聞かせいただき感謝しています。なお、今回の準備にあたっては、習志野市教育委員会生涯学習部と習志野市第九合唱団の方々にご協力をいただきました。この場をかりて感謝申しあげます。

（広報部会・事務局）

今年もサンバに燃えました。

7月24日（日）恒例の“きらっとまつり”に今年も“サンバチーム”をつくり参加しました。57名の参加者は、きらびやかな飾りをつけて大勢の観衆の前でサンバを楽しく踊りました。今回は残念ながら入賞はできませんでしたが、終わった後の皆さんの表情は充実感で一杯でした。ご苦労様でした。

（日本語学習部会）



Today, Alabama plays a vital role in the nation's future. Huntsville, called Rocket City, U.S.A., is the site of the Redstone Arsenal and the George C. Marshall Space Flight Center. Scientists at Huntsville developed many important rockets and space vehicles, including the Saturn 5 rocket system that carried the first astronauts to land on the moon.

The name Alabama comes from the name of an Indian tribe that once lived in the region. These Indians called themselves the Alibamu, meaning I open (or I clear) the thicket. Many cities in Alabama have Indian names, including Tuscaloosa, which was named after Chief Tuscaloosa and means black warrior.

Alabama has a mild climate. January temperatures average about 11 degrees centigrade in the southern part of the state and about 8 degrees centigrade in the north. July temperatures average about 27 degrees throughout the state. Alabama's lowest temperature, -33 degrees centigrade occurred on January 30, 1966. The highest temperature was 44 degrees on September 5, 1925. Alabama's annual precipitation averages from about 165 centimeters on the coast of the Gulf of Mexico to 135 centimeters in the north near the Appalachian Mountains. Snow falls in the northern part of the state, but is rare in the south.

Alabama became the 22nd state of the USA on December 14, 1819. It ranks 29th in size among all the states, with a population of approximately 4.5 million people. About a fourth of the people in Alabama are African-Americans. Other large population groups in the state include people of Irish, English, German, and American Indian descent. The population density is 33 persons per square kilometer; the US average is 30 persons per square kilometer. Fifty-five percent of the population lives in urban communities and Alabama has 24 cities with populations of 20,000 or more.

Birmingham, the largest city, developed as a steelmaking center. Today, Birmingham is an important center of service industries, particularly medical services. Huntsville, Mobile, Montgomery, and Tuscaloosa have kept the attractiveness of small communities in spite of their rapid growth. Huge oak trees arch over wide boulevards in many downtown areas. Stately old homes, reminiscent of scenes from the movie "Gone with the Wind", add to the charm and dignity of these cities.

Tuscaloosa, with a population of approximately 80,000 is the home of The University of Alabama, the state's oldest university founded in 1821. It is the 4th largest city in Alabama after Birmingham, Huntsville, Mobile, and Montgomery. It was also the capital of the state in the 1800's.

In conclusion, it can be said that Alabama and the South, in general, are known for the warm hospitality of their people. This is especially true in Tuscaloosa. It is hoped that the people of Narashino City will come to visit its sister city of Tuscaloosa and to experience "southern hospitality" first hand. We are waiting for you!

ロケットシティ、ハンツビルには米国軍のレッドストーン兵器庫とマーシャル宇宙飛行センターがあり、
初の月面着陸を果たしたサターン5型ロケットを含む多くのロケットや宇宙船がここで開発されました。
アラバマという名前はかつてこの領域に住んでいたインディアン部族名“アリバム”(茂みを切り開くとい
う意味)から、タスカルーサは“黒の戦士”を意味する酋長タスカルーサから名付けられました。
1月の平均気温は、南部で約11°C、北部で約8°C、7月の平均気温は州全体でおよそ27°Cです。1819年米國
で22番目の州となり、人口およそ450万人の全米で29番目に大きい州です。アフリカ系、アイルランド系、
イギリス系、ドイツ系、そしてインディアンの血筋をひく人々が多く居住し、人口密度は1平方キロメート
ル当たり33人です。現在は医療サービスの中心地である最大都市バーミンガムなど都市の多くが急速な成長
をとげる一方で、繁華街の巨大なオーラーの並木道、映画「風と共に去りぬ」を彷彿とさせる古い邸宅など、
小さな地域社会の魅力も保ち続けています。

1821年創立の州最古のアラバマ大学があり、1800年代には州都でもあったタスカルーサは、人口およそ8
万人の州で4番目に大きな都市です。

習志野市の人々には、南部特有のタスカルーサでは、特に際立っている、暖かく心のこもった歓待ぶり
を経験していただけることを望んでいます。私達は、あなた方を待っています！

会員紹介／こんにちは、コ・ン・ニ・チ・ハ／みなさん、どうぞよろしく！

しんけん
真剣に生きるてることに感銘を受けています。

まえだ のりこ
前田 紀子



こんにちは。日本語ボランティアの前田紀子です。

習志野市の日本語ボランティア養成講座を受講して、早や7年になりました。

ちゅうごく
中国、モルジィプ、ロシア、コロンビア、ブラジルそしてタイと多くの方と接してきて、皆様方が真剣に生きていることに感銘を覚えます。

日本語を教えることにより、自分の日本語の曖昧さに気づかされることも度々で反省ばかりです。これからもより良い日本語の指導が出来るように、更に勉強していきたいと思っています。皆様よろしくお願ひいたします。

たの
楽しい学習を心がけています。

しらかわ あらた
白川 新



皆さんこんにちは。今年2月からN.I.A.日本語ボランティアに加えていただいた白川です。

私にとって日本語ボランティアは、初めてのことですので目下試行錯誤の繰り返しにて、授業の度に冷や汗をかいています。

私は生まれこそ満州国新京市（現在の中国長春市）ですが、引き揚げ後育った地は、四国香川県ですので、関西なまりが抜けずに苦労しております。

学校卒業後これまでに転勤16回、引越し19回と引越しのベテランになるほど国内各地を転々として仕事をしてきました。八千代市に住居を構えて21年になります。長らくの宮仕えを終えて、リタイアをしたのをきっかけに今後はお世話になっている地域に何らかの貢献をしたいものと考えていました折、友人の薦めもあってN.I.A.に参加させていただくことになりました。

これまで仕事や毎年1～2度参加する海外植樹ボランティアを通じて、多くの外国の方と交流していましたが、日本語学習を通じての地域に居住する外国の方との交流は、草の根国際交流活動として、これまでになく意義のあることと思っています。

学習者の方も日本語習得に真剣であるだけに、それを支援する日本語ボランティアとしては、相当に勉強して取り組まなければならないと覚悟して、あらためて日本語を見直している毎日です。楽しい授業を心がけていますが、私がテニス大好きのトラキチ（タイガースファン）親父である一方、学習者であるブラジル出身のカナイさんは、大のサッカーファンとあって、しばしばスポーツの話題に時間を忘れてしまう始末です。

これからは、諸先輩の活動を見習いつつ、N.I.A.日本語ボランティアの諸活動には出来る限り参加して、些かでもお役に立てるよう頑張りたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

きょくいんしょくかい
新しい事務局員紹介。

まえだ かずえ
植田 和枝



こんにちは。大津清子さんの後任として今年の2月21日から事務局で勤務しています。事務局のスタッフに助けていただきながら、また、大津さんが残してくださった引継ぎ書を見ながら、何とか業務を行っています。

当初は、初めての業務と家庭の両立のため、夢中で一日一日を過ごしているという感じでした。半年たち少し落ち着いてみると、様々な方面で広い見識を持つ会員の方々や、異文化を持つ外国の方々に囲まれて仕事が出来るということは、大変恵まれたことなのではないかと思っています。

おおぜい
大勢の人々との出会いを大切に、楽しく仕事をしていきたいと思っています。まだまだ力不足ではありますが、よろしくお願ひいたします。

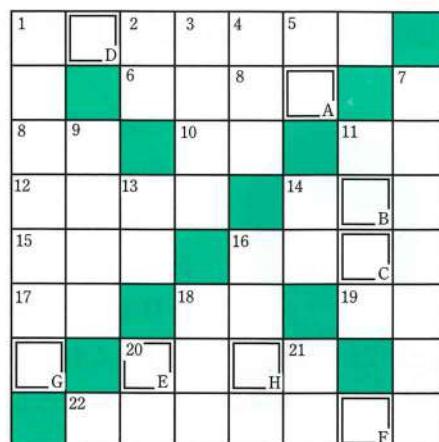
Letsチャレンジ／ザ・英文クロスワードパズルNo.71／プレゼント付！

〈Across〉

- State in North-Eastern U.S.A. It is the country's most economically important state.
- Put (paint, clay, plaster, etc.) roughly on a surface.
- Until
- Radio Telegraphy
- Company
- On
- In machinery, a rotating or sliding projection, as on a wheel, for receiving or imparting motion,
- The colour of fresh blood.
- One of the four stations in baseball.
- There is --- egg on table.
- A chemical symbol for Radium.
- Suffix denoting profession.
- Having no or not much hair, not many feathers, trees, leaves, etc..
- Having had much or long experience, esp. as a soldier.

〈Down〉

- Inborn: native
- War Department
- Thread prepared for knitting, weaving, etc., esp. Woolen thread.
- A way from a place.
- A chemical symbol for Rubidium.
- (In baseball) Hit that allows the batter to run round all the bases without stopping.
- Not closed or enclosed, so that people and things can go in, out, or through.
- Box or container.
- Officer of the Day.
- Central America
- A larger bundle or closely packed package.
- Animal like but larger than a mouse.
- What time will you --- there?
- Doctor



〈出題者〉 御園生 馨 (編集部)

応募要項

クロスを解いたあと、A～Hの文字をつなげてできたことばが正解です。

解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想等を書いて送って下さい。解答は、ハガキ、FAX、Eメールで10月末日までにお送り下さい。

正解者の中から抽選で5名の方に、図書券をプレゼントします。

「N.I.A.スクウェア」編集部まで。

たくさんのご応募お待ちしています。

会員を募集しています。

習志野市国際交流協会では、在住外国人との交流や姉妹都市交流等を通して、国際理解・国際協力を図ると共に、外国の方々とより良い共生社会をつくるために各種のボランティア活動を展開しています。

国際交流やボランティア活動に関心のある方、是非私達の仲間になっていただけませんか。皆さんの入会をお待ちしています。

会 費 年間 学生 1,000円 個人 2,000円
家族 3,000円 法人 10,000円

問い合わせ 習志野市国際交流協会事務局 電話・Fax 047-452-2650

Join the Narashino International Association!

If you are interested in international affairs or promoting international exchange, or if you just want to make friends, be a member of N.I.A.! Contact the N.I.A. office: Tel/Fax 047-452-2650

俳句

あくまで空透明に野分去る
野 分 あき
のわき うき
ともいえる秋の疾風のこと
後空は青い。垣根草を吹き分けたり
野根を倒して通り過ぎたうの意
稻畑汀子

編集後記

*酷暑の今年も甲子園球場では、全国高校野球選手権大会が開催され、その熱戦と郷土愛に多くのファンが感動した。一方、プロ野球は後半戦に突入。パ・リーグのロッテは、交流試合での優勝をバネにペナントレースをも制覇せんとする活躍で、地元ファンを連日興奮させている。特集記事「みんなで夢を掴もう」は如何でしたか。Good Timing! ? (K.M.)

*With the London terror attacks it has been proven once again that we cannot feel safe from such atrocities and that Japan could be targeted at any time. I find it sad that while we commemorate the end of WW2 and the dropping of the atomic bomb on Hiroshima and Nagasaki 60 years ago, the world has apparently still not learnt from those mistakes in the 20th century. Not only are there still wars going on, but now we also have to protect ourselves from the unpredictability of terror attacks. Let's hope we can finally achieve world peace during the course of this century! (R.K.)

前回の解答

〈解答〉 GERMANY

G	H	A	N	B	U	R	G
P	L	O	O	P			A
R	A		D	A		B	L
O	L	D		T	O	O	L
G	A	V	E		N	N	E
R	S		A	U		N	R
A		A	C	N	E		Y
M	A	X	H	I	N	E	

当選者

桐澤絵里奈さん 大久保千里さん
山川 剛人さん 山本 聰子さん
安藤 奈穂さん 正解は13名でした。

N.I.A.スクウェア・第71号

発行2005年9月1日/発行責任者・山田大三

編集・習志野市国際交流協会

編集責任者・沼澤 佳子

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード4F

TEL/FAX 047-452-2650

<http://www1.seaple.ne.jp/nia>

<Eメール> nia@seaple.ne.jp